

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	岐阜県	市町村名	本巣市
-------	-----	------	-----

プロジェクト名	少子化対策プロジェクト		新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 「人口減少時代」に突入したが、主な要因は未婚率の上昇、平均初婚年齢の上昇、夫婦出生力の低下などによる少子化と言われている。出産をためらう要因としては、「子育てに対する不安」「教育費の問題」「育児と仕事の両立」「欲しくてもできない」などがあげられている。 こうした中、『安心して産み育てられる環境整備』は不可欠と考え、「子どもの笑顔が輝くまちもとす」を基本理念に策定した「本巣市次世代育成支援地域行動計画」に基づき、各種の支援策を展開する。</p> <p>(具体的な成果目標) ●未満児保育実施施設率 80%(H17年度) → 100%(H22年度) ●合計特殊出生率 1.36人(H17年) → H17年の水準を維持(H22年)</p>			
プロジェクトの期間	平成17～22年度	政策分野の分類 (①～⑫)	③少子化対策プロジェクト	
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	ホームページへの掲載 http://www.city.motosu.lg.jp/1339/1118/001594.html			
プロジェクトを構成する具体の事業・施策				
名称	事業概要		総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
若者交流支援事業	少子化の最大の原因である、未婚化・晩婚化に歯止めをかけるために、若者の出会いの場の創出などを通して異性との交流を積極的にサポートし、結婚を真剣に考えるきっかけを作るために若者同士の交流支援を行う。		1,168 (0)	
特定不妊治療費助成事業	不妊治療は、精神的な負担が大きい上、治療費が高額になることが多いため、経済的負担の軽減を図るため治療費の一部を助成する。		4,444 (1,000)	
出産祝金事業	出産を祝福し、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図り、明るく豊かな市民生活の形成に資することを目的に、第3子以降の子どもを出生した世帯に祝金を支給する。 ○第3子 30万円/人 ○第4子以降 50万円/人		87,800 (15,000)	
乳幼児・児童医療費助成事業	乳幼児・児童の医療費(外来・入院)の一部を小学校6年生まで助成し、平成21年度からは中学校3年生まで拡大することにより、保健の向上に寄与し、福祉の増進を図ることを目的とする。		869,337 (155,388)	
保育料無料化事業	子育て世帯に対する経済的な負担軽減を図るため、第3子以降の保育料を無料とする。		0 (0)	
総 計			962,749 (171,388)	
その他特記事項				